

政府統計の総合窓口 (e-stat)



統計課では、県民の皆様から統計情報についての問い合わせが多々あります。その際によく利用するのが「政府統計の総合窓口」(e-stat)です。e-statは、政治や行政だけでなく、個人や企業の方が利用できるもので、インターネットができる環境であれば手軽に使えます。この便利なシステムについて紹介したいと思います。

e-statは総務省統計局が中心となって開発した、各省庁が公表する統計データを一元的に利用できるポータルサイトで、平成20年4月から運用され、平成25年1月にはリニューアルを行い利便性の向上が図られました。

主な機能は、統計データを「探す」、地図や図表で「見る」、調査項目を「調べる」の3つです。



e-statのトップ画面

The screenshot shows the e-stat homepage with a navigation bar and several main content areas. Callout boxes highlight the search function, the ability to view data visually, and the use of survey samples.

「思いっ言葉(キーワード)」から、見たい統計データがすぐわかります！

統計調査で使用された調査票のサンプルを見ることができます。

情報を視覚的に分析することで、各地域のすがたがイメージしやすくなります。

アクセス数が多い統計表や「キーワード検索」によって検索された調査で多かったものをランキングで紹介しています。

| 利用件数 | キーワード |
|------|-----------|
| 32 | 国勢調査 |
| 21 | 職業別有効求人倍率 |
| 11 | 家計調査 |
| 8 | 人口 |
| 7 | 人口動態 |
| 7 | 旅行 |
| 6 | 経済センサス |
| 5 | 就業構造基本調査 |

検索には、いくつかの方法があり、「主要な統計から探す」、「政府統計全体から探す」などがあります。また、知りたい統計データをパソコンにダウンロードできるほか、データベース化されたデータを使って人工ピラミッドなどのグラフを作成する機能、統計データを地図上に表示する機能など、ユーザーのニーズの高い機能を備えています。

e-statトップ画面の右側には、統計について学習するページがあり、小・中学生向けの「なるほど統計学園」、高等部向けの「なるほど統計学園高等部」や「統計学習指導のために(先生向け)」として、統計を授業に取り入れる際の参考となるよう、授業モデルや補助教材などを提供しているサイトの3つのコンテンツへのリンクがあります。

これを機会に一度「政府統計の総合窓口 (e-stat)」を訪問してはいかがでしょうか？

e-statを使って統計データを調べてみよう！

e-stat

検索

リンク

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>

